

目白大学大学院言語文化研究科平成30年度第1回公開講義

文法と意味：認知文法の視点

講師：西村 義樹 先生（東京大学文学部・大学院
人文社会系研究科言語学研究室 主任教授）

日時：2018年7月19日（木）20：10～21：30

場所：目白大学新宿キャンパス 1号館208教室 入場料：無料



演者略歴

1984年3月 東京大学文学部英語英文学専修課程卒業。1989年3月 東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程退学。実践女子大学文学部英文学科専任講師、東京大学教養学部助教授、東京大学大学院総合文化研究科助教授、東京大学人文社会系研究科助教授を経て現職。日本言語学会評議員。

出版物

Metonymy underlying grammar (*ENERGEIA*, 2008)、 「換喩の認知言語学」(『ことばのダイナミズム』2008)、 「認知言語学と日本語」(『日本語学』2009)、 『構文と事象構造』(共著、研究社、1998)、 『認知言語学Ⅰ：事象構造』(編著、東京大学出版会、2002)、 『言語学の教室：哲学者と学ぶ認知言語学』(共著、中公新書、2013)、 『明解言語学辞典』(共編著、三省堂、2015)、 『日英対照文法と語彙への統合的アプローチ：生成文法・認知言語学と日本語学』(共編著、開拓社、2016)、 『メンタル・コーパス：母語話者の頭の中には何があるのか』(共編訳、くろしお出版、2017)、 『認知文法論1』(編著、大修館書店、2018)等、多数。